

# なぜ会いたくて震えるのか？

——J ポップで考える哲学

Presented by 戸谷洋志

自分とは何なのか、なぜ他者を愛するのか、人生に意味はあるのか……  
そんな難問を、J ポップを手がかりに考えていく  
まったく新しい哲学読本。

## 企画内容

- 1 この本は、誰もが知っている有名な J ポップの楽曲の歌詞を用いて、様々な哲学的なテーマを考察していく、まったく新しい哲学の読み物です。
- 2 分かりやすく、またテンポを良くするために、「先生」という語り手と、「麻衣」というアシスタント役のキャラクターを登場させ、対話によって話を進めていきます。
- 3 メインの読者ターゲットは、J ポップに親しみ、かつ哲学に関心をもつ 20 代から 30 代前半の社会人を、またサブターゲットは、20 代前半の学生を想定しています。
- 4 身近な J ポップの詞を用いることで、難解な哲学の問題へと簡単に接近し、自分のこととして考えることができ、当たり前だと思われている事柄を自分なりに思考する力を養えます。

## 戸谷洋志 Toya Hiroshi

大阪大学大学院後期博士課程。日本学術振興会特別研究員。専門は哲学。2014 年 4 月から 2015 年 3 月まで、ドイツのフランクフルト大学へ研究留学。そこで、ドイツの社会のなかで哲学が親しみをもって受容されていることを痛感し、日本においても哲学をより身近なものとして提示する必要があると痛感し、一般の読者を想定した執筆活動を行っている。

### 【執筆作品】

共著『文学から環境を考える：エコクリティシズムガイドブック』（勉誠堂、2014 年）／小論「現代思想のなかの原子力発電所」（『科学』2015 年 5 月号（岩波書店））／小論「哲学者は原発をどう語ったか」（メディアアクティビストの津田大介のメールマガジン「メディアの現場」173 号）

### 【受賞歴】

第 11 回「涙骨賞」奨励賞受賞

## 構成案

### 第 1 章 自分 「自分」という概念を多面的に考え、本書全体の基礎を固めていきます。

- 「自分らしさ」の閉塞感……………「名もなき詩」／Mr. Children  
他者を否定する私……………「私以外私じゃないの」／ゲスの極み乙女。  
自分であることの不自由……………「青い春」／back number  
他者とともに変わる私……………「君の名は希望」／乃木坂 46

### 第 2 章 恋愛 他者との関係に注目しながら、恋愛の喜びと苦しみを論じます。

- 君と共にいる私……………「会いたくて会いたくて」／西野カナ  
愛情に潜む自己愛……………「アカツキの詩」／スキマスイッチ  
他者との絶対的な隔たり……………「誰かの願いが叶うころ」／宇多田ヒカル  
不在の他者への愛……………「瞳を閉じて」／平井堅

### 第 3 章 時間 人間が体験する時間のあり方を論じます。

- 繰り返される記憶……………「天体観測」／BUMP OF CHICKEN  
歴史のなかの現在……………「創聖のアクエリオン」／AKINO  
忘却の力……………「シルエット」／KANA-BOON  
時間を超越する瞬間……………「閃光少女」／東京事変

### 第 4 章 死 「死」について様々な角度から検討していきます。

- 死後の世界がないとしたら……………「おしゃかしゃま」／RADWIMPS  
他者に記憶される死……………「アゲハ蝶」／ポルノグラフィティ  
有限性としての死の意味……………「不死鳥」／SEKAI NO OWARI  
生命を躍動させる死……………「NIPPON」／椎名林檎

### 第 5 章 人生 人生の意味について考察していきます。

- 究極の目的がない人生……………「Believe」／嵐  
希望と絶望の狭間……………「世界が終わる夜に」／チャットモンチー  
目的のない人生の肯定……………「JOY」／YUKI  
幸福の意味を創造する力……………「笑ってたいんだ」／いきものがかり